

《日本的战争责任》

图书基本信息

书名：《日本的战争责任》

13位ISBN编号：9787801491961

10位ISBN编号：7801491963

出版时间：1999-09

出版社：社会科学文献出版社

作者：[日] 若槻泰雄

页数：451

译者：赵自瑞 等

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介以及在线试读，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu000.com

《日本の戦争責任》

内容概要

20世紀は戦争に明け暮れた100年だった。終戦を下司官として迎えた著者が目撃したものは? とかく言われ続けてきた、軍部の無責任体制を鋭く喝破した名著。戦争のない新世紀を迎えるために読みたい上下巻。

《日本の戦争責任》

作者简介

1924(大正13)年、中国青島市生まれ。1952(昭和27)年、東京大学法学部政治学科卒業。農林中央金庫を経て、1954(昭和29)年から1963(昭和38)年まで日本海外協会連合会(現・国際協力事業団)に勤務しサンフランシスコ、ポリビア両支部長を歴任。玉川大学農学部助教授を経て、1973(昭和48)年から1990(平成2)年まで同教授。専門は国際人口移動論。

《日本の戦争責任》

書籍目録

《上》

第1章 どうして日本軍は銃剣で戦車に勝てると信じたのか

第2章 どうして日本の兵隊は勇戦敢闘したのか

第3章 どうして日本の軍隊は残虐行為をしたのか

第4章 いったいこの日本の軍隊の統率者はだれだったのか

第5章 いったい日本の戦争目的はなんだったのか

第6章 どうして当時のマスコミは戦争に反対しなかったのか

《下》

第7章 どうして国民は戦争に反対できなかったのか

第8章 いったい政治家、官僚はなにをしていたのか

第9章 いったい学者、論客たちはなんと言っていたのか

第10章 議論の行きつくところ

《日本的战争责任》

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu000.com